

図書館だより

2025 年8月号 (NO.186)

大竹市立図書館



〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1

TEL 0827-52-5338

<http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

8月 (Aug)						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月 (Sep)						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

←○はお話会・■は休館日です

☆開館時間

10:00~18:00

(日曜日 9:00~17:00)

☆貸出冊数 1人10冊

(うちAV資料2点)

☆貸出期間 2週間



HP



YouTube



お知らせ



貸出冊数の変更について

・小学校の夏休みに合わせて、貸出冊数を変更します。

期 間：7月19日(土)～8月31日(日)

冊 数：10点から20点に変更。

(CD・DVD等AV資料は2点まで、
20点の中に含まれます。)

「夏休みの宿題お助け本(課題図書)」コーナーを設置しました!

・自由研究や読書感想文の「お助け本」を集めました。
困ったら図書館に頼ってみてください!

展示場所：児童コーナー入口付近
(CD・DVDコーナーの近くです。)

おはなし会

☆おひざにだっこのおはなし会(赤ちゃん向け)

8月8日(金) 10:30～【毎月第2金曜日】
ギャラリーおたけ3

☆親子で楽しむおはなし会(1歳以上向け)

8月8日(金) 11:00～【毎月第2金曜日】
ギャラリーおたけ1

☆おはなし会(幼児・小学生向け)

8月16日(土) 11:00～
図書館1階おはなしの部屋

らんらんカレッジサマースクール2025

☆おはなしきかせて

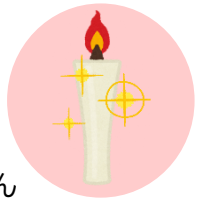
～ストーリーテリングのおはなし会～

とき：8月2日(土) 10:30～

ところ：ギャラリーおたけ1

対象：幼児・小学生・保護者

語り手：にじいろのたねのみなさん



「ストーリーテリング」とは、語り手が昔話などの
おはなしを覚え、語り聞かせることです。語り手
の声だけでおはなしを届ける、語りの世界をいっ
しょに味わってみませんか。

☆たのしい人形劇

とき：8月21日(木) 10:30～

ところ：ギャラリーおたけ1

対象：幼児・小学生・保護者

語り手：人形劇コロコロのみなさん



去年の人形劇
の様子♪

新刊案内



子どもの本



「ジョナサンいいかげんにして!」

ウィリアム・コール／作

トミー・ウンゲラー／絵

こみや ゆう／訳

(好学社)

いたずらが大好きで、やんちゃなジョナサン。あきれはてたパパとママは、医師のキャロラー先生に相談していくことに。すると先生の診断は…? 等身大の子どもの姿を描いた絵本。



「わすれないヒロシマ・ナガサキ 1 原爆はなぜ落とされた」

安斎 育郎／文 監修

安斎 育郎／文 監修

(新日本出版社)



「やなせたかし物語 なんのために生まれてなにをして生きるのか」

やなせスタジオ／作絵

(フレーベル館)

おとなの本



「だから路面電車は生き返った」

中田 裕一／著

(南々社)

路面電車の「被爆から3日後の復旧」は本当に奇跡だったのか? 1945年8月6日、当時の広島電鉄の電気課長が書き残した貴重な業務日誌・個人手帳の日記から、広島路面電車の復旧を紐解く。



「薬に頼らずのびのび育てる!」

こども薬膳」

さとう あい／著

(三笠書房)



「学園ドラマは日本の教育をどう変えたか」

西岡 竜誠／著

(笠間書院)

一般展示 「怖い話」

「さかさ星」

貴志 祐介／著 KADOKAWA

戦国時代から続く旧家・福森家の屋敷で起きた一家惨殺事件。遺体は人間離れした手口で破壊されていた。福森家の親戚にあたる中村亮太は、霊能者の賀茂禮子と共に事件を調査することに…。

時事展示 「戦後80年」

「風はずっと吹いている」

長崎 尚志／著 東京：小学館

誰が、誰を、なぜ殺したのか? 広島郊外の山中で、一組の白骨遺体と頭蓋骨が見つかった。広島県警捜査一課警部補・矢田誠らは、捜査の過程で、終戦後跋扈していたある少年グループに辿り着くが…。

児童展示 「こわーいはなし」

「まわるよる」

tupera tupera／さく

よるはまわるよ、ぐるぐるまわる。テレビに映るお寿司を「うまそうだなあ」と見ていた、食いしん坊のふとしくん。お母さんに言われて、ベッドに入って寝ると、なぜかベッドが動きだし、回転寿司屋のレーンの上へ…!?

児童ミニ展示 「せんそうとへいわ」

「やくそく」

那須 正幹／さく ポプラ社

ばあちゃんは、ぼくのことを原爆で死んだ“にいちゃん”とまちがえる。死んだ人にまちがわれるなんて、いやだけど…。3歳のときに広島で被爆し、生涯をかけて平和を訴え続けた児童文学作家・那須正幹が遺した物語。